

令和2年6月6日

加盟チーム各位

浦和軟式少年野球連盟  
理事長 小杉 満

## 大会再開に伴う運用ガイドラインについて(通知)

日頃より、連盟事業にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。5月25日に緊急事態宣言が解除されたことを受け、7月から連盟内大会の活動を再開することといたしました。つきましては、下記のとおり、感染リスクを極力減らしつつ、活動に関わる全ての方の健康安全に十分留意され、活動を再開していただきますようお願い致します。

1. 各チーム自粛期間が長かったこともあり、選手のけが防止の為試合に向けた練習場所の確保を行う。6月の専用利用について、別途定めるよう利用場所を利用できる。
2. チームの活動に際し以下の事項をチーム内で管理すること。
  - (1) ソーシャルディスタンス（概ね2m）を取る。呼気が激しくなる際は一層距離を開けること。
  - (2) 団員の体力を考慮し、運動強度や日数を検討すること
  - (3) 活動当日は検温し、平熱を越える発熱や咳など、風邪のような症状が見られ、体調が優れない場合の参加は控えさせること。
  - (4) 活動（練習）会場にいる全員（保護者含む）の名前を控え、しばらく保管すること。（感染経路追跡の為）
  - (5) 休憩時間には、うがい・手洗い・消毒を徹底させ、タオル・飲料の共用はしないこと。
  - (6) 可能な限りマスクを着用すること。（指導者・保護者等含む）
  - (7) 大声での発声、声援、会話は控えること。
  - (8) 団員、保護者に活動に対する説明をしっかりと行い、理解を得ること。
  - (9) チーム関係者に感染者が出た場合は連盟へ必ず報告を行うこと。
  - (10) 共用道具（ヘルメット、捕手防具等）は都度、消毒を実施すること。
3. 試合時のガイドライン
  - (1) ホームベース前での整列は行わず、選手は両チームベンチ前・審判員はホームベース前で相互の礼を行い試合を始める。試合終了時も同様。（密接防止）
  - (2) ベンチへは選手、指導者3名(30、29、28)、救護者1名、記録員1名のみとする。
  - (3) ハイタッチや握手の自粛、唾や痰を吐くことの禁止、ベンチではマスクを着用する。（飛沫防止）

- (4) 1・3 塁コーチはグラウンド上でもマスクを着用する。守備・攻撃時のマスク着用は可とする。(飛沫防止)
- (5) 審判員もマスクを着用する。(飛沫防止)
- (6) 守備側・攻撃側の作戦タイム・選手の交代等の場合は十分距離を置いて話す。(ソーシャルデスタンス)
- (7) 試合終了後は速やかに試合会場からの移動を行う。
- (8) 2 試合目以降のチームは前チームが完全にベンチから撤収したのち、グラウンドへ入ること。
- (9) ベンチ内での応援歌は禁止。ただし、ベンチ内でのメガホン応援(音)を許可する。

以上